

しんねん あいさつ わ 新年のご挨拶とお詫び

りじちょう つつみあいこ
理事長 堤 愛子

● ねん おお へんか とし 2023年は大きな変化の年

ことし え と しんねん あいさつ ほんらい みなさま ひやく けつい つた
今年の干支はうさぎです。新年のご挨拶として、本来であれば皆様へ飛躍への決意をお伝えしたい
ところでしたが、この度のMHNニュースにて、会員の皆様へ当団体の大きな変化と謝罪をお伝えし
なければなりません。

わたし つつみあいこ らいねん さい き ねん がつ ねん きつづ
私（堤 愛子）は、来年70歳になるのを機に、2024年5月いっばいで、2012年より6期続
けた理事長を退任するつもりです。

げんざい あいえるぶもん こうけいしゃ だ かんが ざんねん しーあいえる そしき なか
現在のIL部門から後継者を出したいと考えていましたが、残念ながら、CILという組織の中で
しゅどう そしき き も しょうがいとうじしゃ いくせい あいえるぶもん そんぞく
主導となって組織を切り盛りできる障害当事者を育成ができなかったことにより、IL部門の存続が
こんなん しょうがいとうじしゃ かつどう さんどう おうえん かいじん
困難になりました。これまで、障害当事者による活動にご賛同、応援をしてきていただいた会員、
りようしゃ かがたが きたい こた けっか わ もう あ ほんとう
利用者の方々の期待に応えることができない結果となってしまったことをお詫び申し上げます。本当に
もう わけ
申し訳ございませんでした。

ともな ほうじん そしき おおほぼ かいへん
これに伴い、法人としても組織の大幅な改編をしなくてはなりません。

げんじょう ねんど あいえるぶもん し ほうじん かつどう
現状では、2023年度いっばいでIL部門を閉め、法人の活動は「ヘルパーステーション・マイ
ちゅうしん み こ
ライフ」が中心になる見込みです。

● ねんど しんたいせい む 2024年度からの新体制に向けて

あいえるぶもんへいさ ともな かいじん りようしゃ みなさま こんご えむえいちえぬ か
IL部門閉鎖に伴い、会員、利用者の皆様におかれましては、今後どのようにMHNが変わって
いくのかと、不安に感じられる方もいらっしゃると思います。

げんざい しあわ しんりねん
現在すでに「ヘルパーステーション・マイライフ」では、「みんなが幸せになる」を新理念として
かか しーあいえる しゅほう ようそ じかん たいとう わ あ あんしん ほな ぼ つく
掲げ、CILにあった手法の要素（時間を対等に分け合う、安心して話せる場を作る、ロールプレイ
など ひ つ りようしゃ かか ひと ほか こと ほな あ
等）を引き継いで、利用者とそこに関わる人たちのエンパワメントを図っていく事が話し合われていま
す。

つつみ りじちょうたいにんご なん かたち こもん そうだんやく のこ よてい
また、堤は理事長退任後も何らかの形（顧問か相談役）で残る予定です。

あいえるぶもん
IL部門はなくなりますが、ヘルパーステーション・マイライフの中でIL的な要素も継続し、
しょうがい しょうどう たいせい かんが
障害スタッフも協働できる体制をめざしていきたいと考えています。

い か しょうがいしゃ げんしょう ねんど けいぞく
以下、障害者スタッフの減少により、2024年度から「できなくなること」と「継続したいこと」
あら おこな れっきよ
「新たに行いたいこと」を列挙します。

★できなくなる事

① 計画相談

★継続したい事

① 当事者相談（ピア・カウンセリング）…制度、福祉用具、住宅、自立サポートなど

② 利用者さんへの個別プログラム

③ カフェ等の利用者さんが役割を持って関わるイベント

④ NPO法人としての会員制度の存続（会員の趣旨が変更になるかもしれません）

※上記の業務はコーディネーターと協働して行っています。

★新たに行いたい事

① IL的な手法をコーディネーターたちに継承していく事

② 新たな障害者スタッフの発掘と育成

● 「障害者主導」から「障害のある人とない人の協働」へ

こんご む ぐたいてき うご ねんど ねんかん あいえるぶもん へいさ ともな
今後に向けての具体的な動きですが、2023年度の1年間は、IL部門の閉鎖に伴うさまざまな
と く せい い まいとしおこな
取り組みを、誠意をもってあたらせていただきます。そのため、毎年行ってきたピア・カウンセリング
こうざ れんぞくこうざとう やす えむ おこな こうざ たの
講座、アサーティブ連続講座等はお休みします（セミナーとカフェMは行います）。講座を楽しみ
かたがた ほんとう もう わけ
にされていた方々には、本当に申し訳ございません。

けいかくそうだん りようしゃさま ただい めいわく ところ わ もう あ りようしゃ
計画相談の利用者様にも多大なるご迷惑をおかけすることを、心からお詫び申し上げます。利用者
みな こんごこべつ はな あ きょくりよく きぼう そ じぎょうしょ ひ つ おこな
の皆さまとは、今後個別に話し合いをしながら、極力ご希望に添う事業所への引き継ぎを行って
おも
きたいと思えます。

そして2024年度以降は、MHNでは理事長・事務局長は障害のないスタッフが担っていくこととなります(予定)。

そのことで、先日JIL(全国自立生活センター協議会)やTIL(東京都自立生活センター協議会)の役員とも話し合いを持ちましたが、MHNが、これまで当事者運動で培ってきたCILの手法(聞き合い、個別プログラム等)を生かした派遣を行っていくこと、行政交渉等運動を継続していくこと、当面は堤が相談役として残ることなどを鑑み、加盟団体としての継続が認められました。

近年、後継者不足に悩むセンターは、全国的にも増えているそうです。

今後は「障害当事者主導」から、「障害のある人となない人との協働」ができる団体をめざして活動していきたいと考えています。MHNも時代と共に変化していきます。

最後に、当事者の後継者を育てられなかったのは、理事長である私の力不足であり、心よりお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

本当に皆さまにはいろいろとご不便やご迷惑をおかけいたしますが、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

※この件に対するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

町田ヒューマンネットワーク理事長 堤愛子

障害者生活支援センターまちだや管理者 松原信幸

MAIL mhn-machidaya@mbr.nifty.com

TEL 042-724-8616

